



AMX-50 へちま織りのバッグ

デザイナー / 辻澤由紀

●使用織り機…オリヴィエ 〈織美絵〉

●使用糸

使用糸 (リッチモア手あみ糸)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
ジョコンダ	No.1	①(ライトグレー系)	1.5玉
シニョーリア	No.3	②(水色系)	0.8玉
トッピングモール	No.170	③(紫・黄緑・ピンク)	0.2玉

●使用ヘドル…30羽 (30本/10cm)

●その他の道具…長さ40cm以上の定規

●付属品…片面接着芯各32×70cm、裏布32×70cm、16×50cm、持ち手芯(極太糸38cmを約10本)、縫い付け式マグネット (H206-049-2) 1組

●ヨコ糸密度…本体：37段/10cm、マチ・持ち手：約46段/10cm

●織り上がり寸法…本体：長さ73cm、幅32cm

マチと持ち手：長さ138cm、幅8cm

●作り方

※本体、マチ・持ち手の2回に分けてタテ糸を準備して別々に織る。

1 タテ糸を配色どおり張る。

【本体】

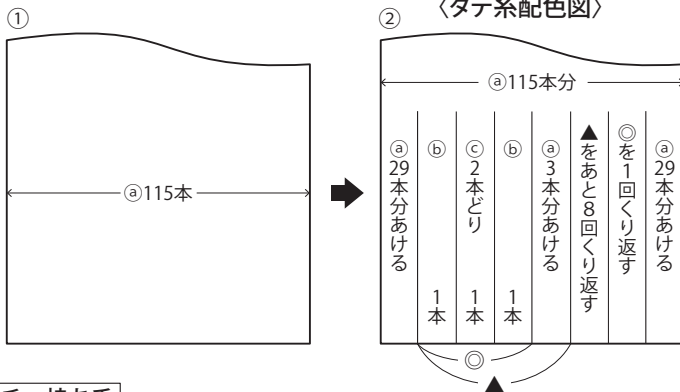
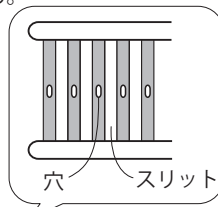
タテ糸の本数…①115本、②20本、③2本どり×10本

ヘドル通し幅…約38.5cm

タテ糸の長さ…120cm

① ①で115本張る。

② 配色図を参照し、②③を①の糸に重ねて張る。②が必ずヘドルのスリットに入るようにする。



【マチ・持ち手】

タテ糸の本数…①30本

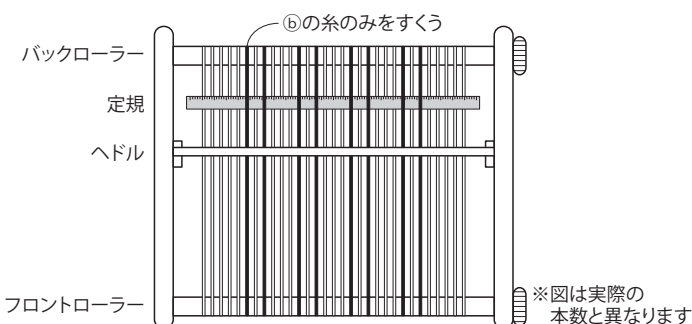
ヘドル通し幅…10cm

タテ糸の長さ…200cm

2 ヨコ糸を指定どおり織る。

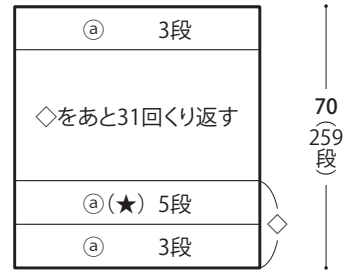
【本体】

① 捨て織りを織り終えたら、ヘドルをレストポジションに置きヘドルの後ろ側で②の糸のみを定規(長さ40cm以上)ですくっておく。定規はバックローラー側に寄せておく。

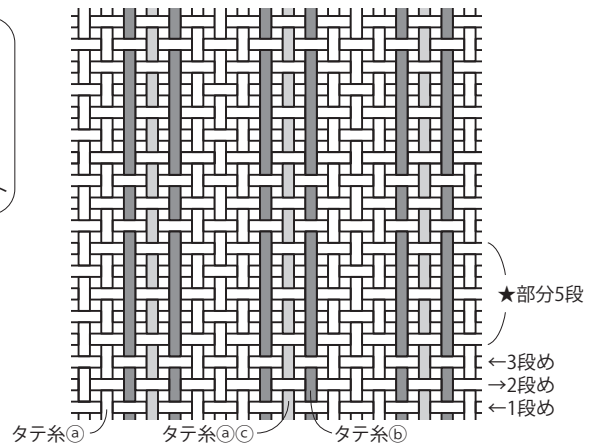


②ヘドルをアップポジションに置き、右側からシャトルを入れて織り始める。ヨコ糸は②で織る。

〈ヨコ糸配色〉 ★部分は定規をヘドル側に寄せて②糸をよけ、タテ糸②③部分のみで平織する



〈本体★部分〉

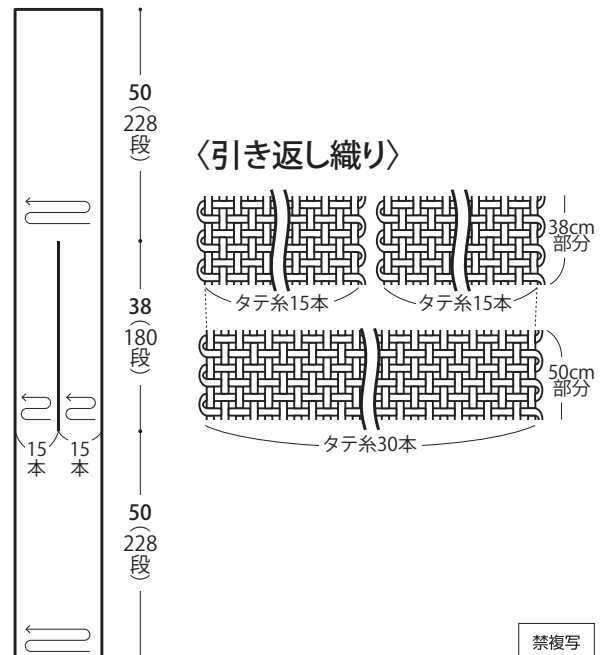


【マチ・持ち手】

〈ヨコ糸デザイン図〉

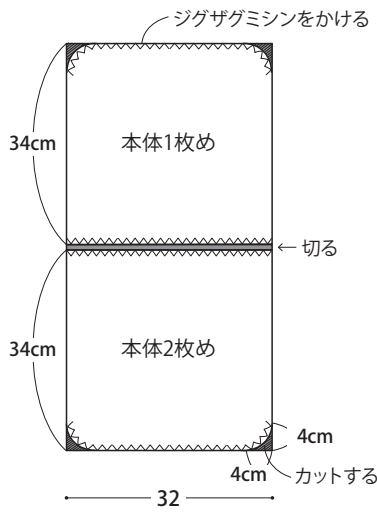
ヨコ糸は②で織る。

中央の38cm分はふたつに分けて引き返し織りで織る。

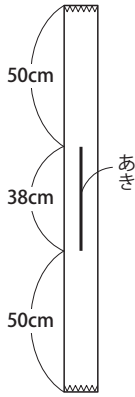


3 本体の織地に接着芯を貼り、中央で2枚に裁断する。
 本体、マチ・持ち手の織端にジグザグミシンをかけてフサを短く切る。

本体・裏布共通

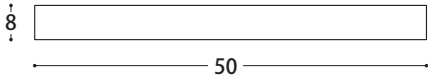


マチ・持ち手



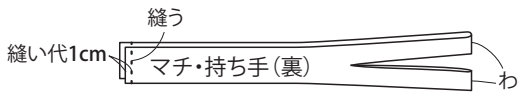
マチの裏布

同じサイズの布を2枚用意する

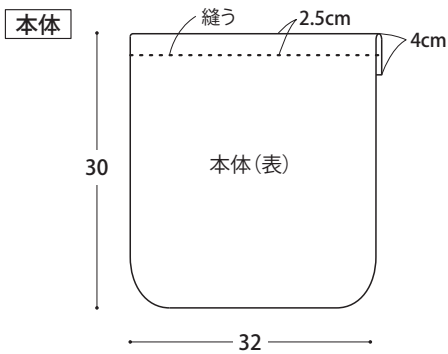


4 仕立てる。

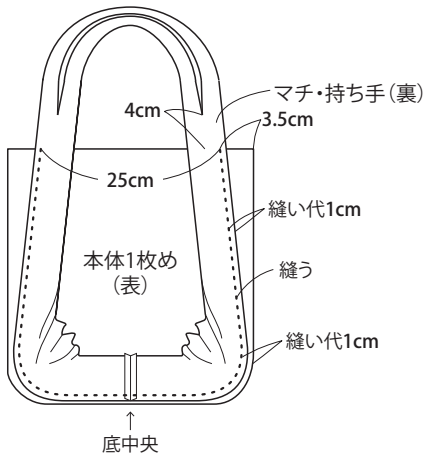
① マチ・持ち手の織端を縫って輪にする。



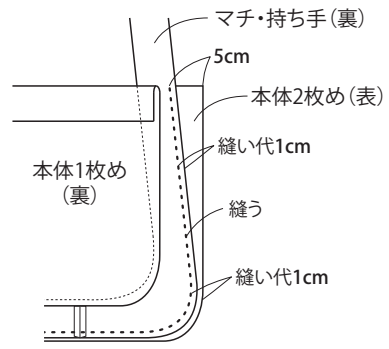
② 本体2枚と裏布の口を折り返して縫う。



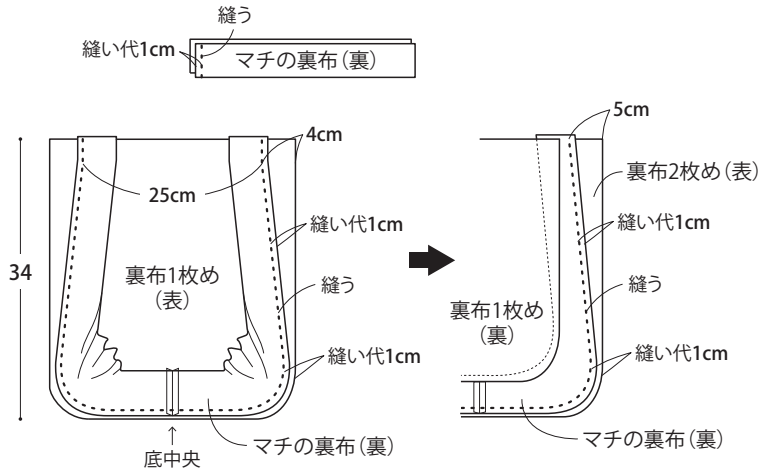
③ 本体1枚めとマチ・持ち手を重ねて縫う。



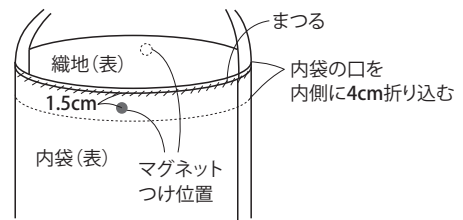
④ マチ・持ち手と本体2枚めを重ねて縫う。



⑤ 裏布を図のように縫い、内袋をつくる。



⑥ 織地と内袋を重ね、バック口をまつ。
 内袋の中央にマグネットを縫い付ける。



⑦ 持ち手の引き返し織り部分の端をかがって筒状にする。

